山口をこんな街に

作間さん（技工団社長）の「ガーデンシティー論」

心のふるさと再現

自然環境との調和図って

西の京・山口、歴史と伝統の町山口―、その夢をもう一度。新春に当たり、デッカイ夢を描いてみよう。〝山口をこんな町にしてみたら〟と、その理想を追求した「ガーデン・シティー論」。豊富な経験と知識から生み出された提唱者の作間正朝さん（技工団社長）＝山口市緑町＝にそのアイデアのすべてを聞いてみた。

―明けまして、おめでとうございます。さっそくですが、新年にふさわしい、楽しい話を聞かせて下さい。

作間　やあ、おめでとう。

―作間さんが考えておられるガーデン・シティー論とは、どういうものでしょうか。

作間　私流に日でるから、誰もが自然も、空気も、全く美しく、おいしい山口の町、人間の生活と自然の環境が、十分にバランスのとれたガーデン・シティー造りとモ合理的が願い、また、それがさるさとへの愛情であろうと思っています。

―人間生活の理想に帰ろうということですね。その具体的方策は？

作間　ガーデン・シティーの町造りには、まず、第一にガーデンロード、すなわち新交通体系の導入が必要です。これに関連する道路、洗濯場、緑等洞、緑地帯への雨外植物園、防長苑、民俗学を最適、限定商業、山口、防府、小郡とさらに、山口のおまつり、湯田温泉の中核都市への通勤路線、このほか秋吉、萩等をのサイクリングロード、長門を用の銀河の七夕立て、ビジネスの「足」を提案する。

―というとは、その一つ一つの楽しい町造りの夢を絵にして、概略に描き、それをたたき台にして現実と結びつけ、「またおいで」また山口へ」のキャッチフレーズにも恥ずかしくないようにということですね。

作間　まさにその通りです。

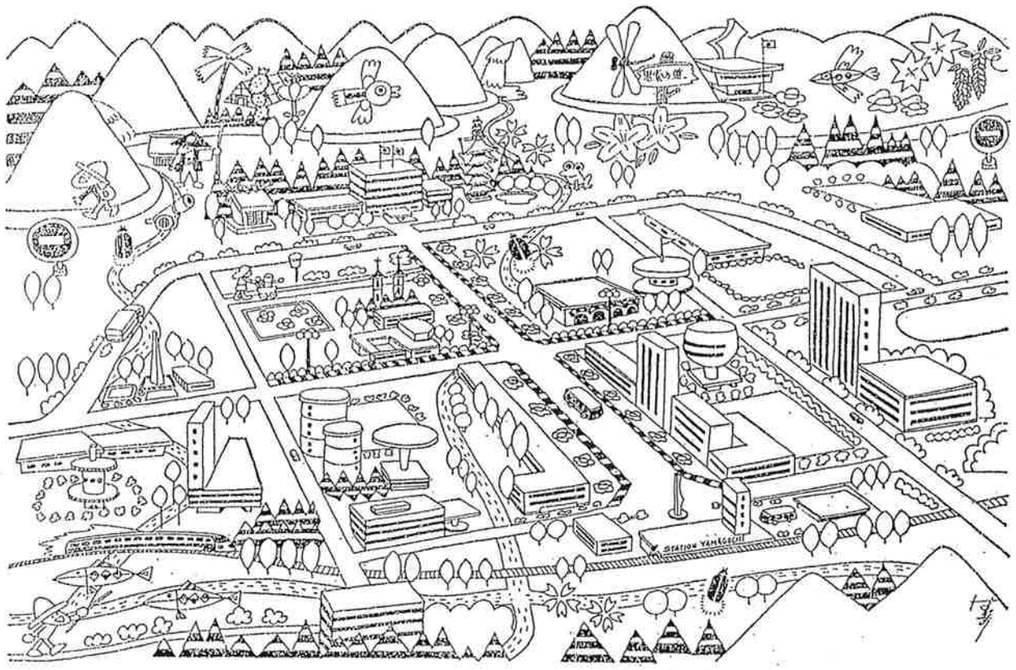
―それは個人の夢をみたいと思います。まず、新しい山口の交通体系ですが…。

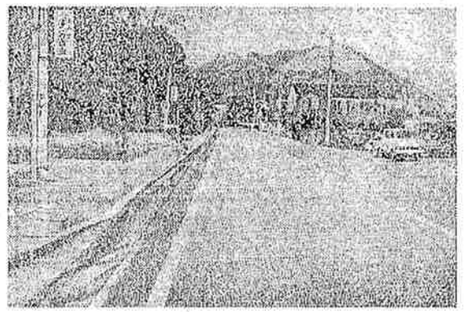
作間　これはガーデン・シティー論の根幹の一つですが、観光客が山口駅を訪れたと仮定します。新幹線小郡駅に、超高速でひかり一号がすべり込む。下のホームに降り立つと、山口行きの明るいイメージの電車が待っている。ロマンスカーには、萩焼の用意がしてあり、ガイド嬢がマイクで、観光案内を始める。秋芳洞、萩城下町、津和野の里の案内はもちろん山口の史跡、士族屋、防長の食べ物、さらに伝統の歌に紹介されながらロマンスカーは十分ほどで、県都にふさわしい新装の新山口駅に到着する。

駅前広場は、現在の約三倍の規模に拡大され、カラフルなペーブメント、自転しうる緑の樹木、花ロード、すなわち新交通体系の導入が必要です。これに関連する道路、洗濯場、緑等洞、緑地帯への雨外植物園、防長苑、民俗学を最適、限定商業、山口、防府、小郡とさらに、山口のおまつり、湯田温泉の中核都市への通勤路線、このほか秋吉、萩等をのサイクリングロードの導入センターが設けられて観光、ビジネスの「足」を提案する。

―新山口駅の理想を描いてもらったわけですが、自動車のアばどうなりますか。

作間　中国横断道、山陽自動車道から流れてくる縦貫用の高速道路は、新設された国道9号バイパスにのり、新山口駅を中心とした輪状路は、昭和通りを活用し、市内新路は、狭しく、安心してショッピングができる町にする。それは、ショッピングセンターのガードレール、緑の樹木に花を添え、すずらん灯、ナトリウム灯が映し出す陰影と、その辺りを真っ白なイスが埋め尽くし、時折歌唱するカフェテラスの流れ出しが夜歩する人々に楽しみを与える。ショッピングにもよし、憩と団欒、人間性豊かな町造りにもよし、レクリエーションにもよし、憩と団欒、人間性豊かな町造りにもよし、レクリエーションにもよし、憩と団欒、人間性豊かな町造りにもよし、レクリエーションにもよし、憩と団欒、人間性豊かな町造りにもよし、レクリエーションにもよし、憩と団欒、人間性豊かな町造りにもよし、レクリエーションにもよし、憩と団欒、人間性豊かな町造りにもよし、レクリエーションにもよし、憩と団欒、人間性豊かな町造りにもよ





来年度一部着工の見通しがついた山口駅―県庁間

イラストは　萩野率次氏

新駅に発着センター

県庁間にはメーンロード

新交通体系が必要

史跡探訪に思索の小道

作間正朝氏

作間正朝氏紹介

山口市都市計画審議会委員、山口商都市交通体系調査協議会会長、山口商工会議所前会頭および まつり委員会委員長、山口市商工会議所会頭